

～植物工場ビジネス・セミナー講義～

◇ 弊社（イノプレックス）について

- ・ 植物工場ビジネスの専門ニュースサイトを運営
- ・ 国内外グローバルに年間100社以上のヒアリング取材を実施
- ・ 個別企業への市場調査・コンサルティングを実施（40～50件）

◇ 本セミナー講義について

- ・ 植物工場について、効率的な情報収集ができます（あなたの疑問にお答えします）
- ・ 主に【経営・マーケティング】を中心とした講義となりますので、新規事業・経営企画部から研究開発部まで、幅広い方を対象にしております

◇ あなたの疑問にお答えします

- ・ 講義プログラムを選択の上、事前の受講シートに記載された内容に関連する情報を追加・修正した形で講義を行います
 - ◆ 事前の受講シート：どういった内容を中心に講義してほしいのか。
例えば、補助金情報が知りたい、中国での進出を検討しているので中国の市場動向を中心に知りたい等、具体的な質問に対しても、できる限り講義に反映させます。

◇ 各講義プログラムについて

- ・ 費用：3万円（税抜）／各講義プログラムにつき
 - ◆ 2名以上の参加の場合は、1名追加につき1万円が必要となります
- ・ 講義時間：3時間30分（うち休憩15分＋質疑応答も含む）
 - ※ 日時は参加者様と相談の上、決定いたします。
 - ※ 基本的には個別講義（あるいは少人数制）となります。
- ・ 会場場所： 弊社の東京・日本橋オフィス

◇ 申込方法

- ・ 申込用紙に必要事項をご記入の上、事務局までご連絡下さい。
 - ◆ 一般社団法人イノプレックス 事務局
(FAX) 050 - 3737 - 1232 / (E-mail) info[@]innoplex.org

◇ 講義プログラム①「人工光型植物工場における市場動向と企業分析」

■ 講義概要

人工光型植物工場について、日本は世界のトップリーダーとして高度な技術を保有しています。全国の稼働施設数としては34カ所（2009年）から165カ所（2014年）に拡大し、近年では大手企業や食品・小売分野からの参入も増えており、市場拡大傾向にあります。野菜の生産・販売事業では、全体の6割が赤字である一方で、規模に関わらず黒字化を実現する企業も出現しています。

本プログラムでは、人工光型植物工場を活用した各テーマに関する市場動向や最新事例、黒字化要因について解説・分析するとともに、グローバルな情報をもとに、各企業が進むべき方向性・事業戦略について考えます。

■ 講義内容（目次）

※ 事前の受講シートをもとに講義プログラムを修正・追加します。

1. 国内の市場動向

- ① 植物工場シェアと市場規模（予測）
- ② システム別事例
 - ・家庭菜園、店舗併設企業、コンテナ型、小中規模プラント、大規模プラント
- ③ 各有望テーマ・作物別の最新動向
 - ・作物別（レタス、ハーブ、ベビーリーフ、イチゴ、薬用植物など）
 - ・テーマ別（機能性野菜、藻類培養、都市型農業・グリーンビルディング、健康食品・化粧品・医薬分野、障害者雇用 など）
- ④ 成功事例分析
 - ① 規模別分析、② 個別黒字化事例、③ 失敗事例から考える成功要因

2. 海外の市場動向

- ① 日本企業における海外進出事例
- ② アジア諸国（中国、香港、台湾、韓国など）
- ③ 米国市場
- ④ 欧州市場

3. 今後のビジネスチャンス

- ◇ 今後の技術ロードマップ
- ◇ 高度な六次産業化
- ◇ 日本における技術優位性と今後のビジネスチャンス

◇ 講義プログラム②「人工光型植物工場における収支計算」

■ 講義概要

専門家は施設の高さと床面積、栽培作物の情報だけで収量、売上高、雇人数やランニングコスト等の概算を計算することが可能です。さらに採算性シミュレーション雛形（エクセル）を利用すれば、事業計画書の作成が容易になり、様々な条件下における利益率を算出することができます。

本プログラムでは、生産規模や生產品目、海外資材への切り替えなどを行った場合等、様々な条件下における計算を行い、収支計算表へ実際に数値入力し、シミュレーションを行うことで事業性の比較検討を行います。

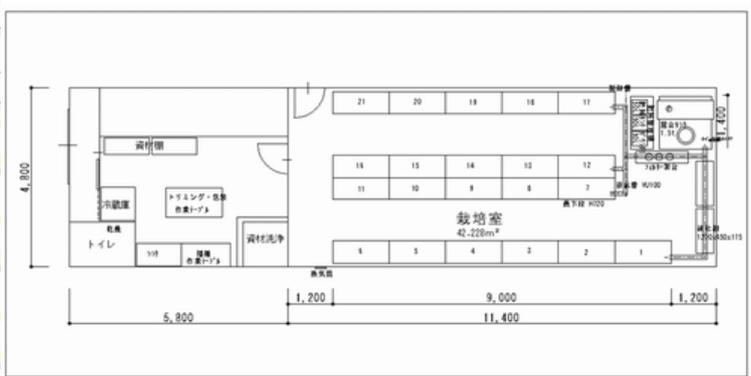
■ 講義内容（目次）

1. 各所要室の役割について
 2. コストウェイト解説（初期・運用コスト項目と比率の理解）
 3. 生産量と必要な面積の計算方法（レタス、ベビーリーフなど）
 4. 低コスト化のポイント（導入設備レベルの区分、海外資材、種の入手）
 5. 光源の設置と選択方法（各種光源特徴、消費電力、光強度など）
 6. 実習 EXCEL 配布（持参したノートパソコンで使用可能です）
 1. 「レタスとベビーリーフ栽培の収支比較」
 2. 「空き工場利用・導入設備レベルごとの収支比較」
 3. 「小規模での高付加価値野菜プラントの収支作成」
 4. その他、LED 導入シミュレーションなど合わせて行います。
- ※ 受講人数によってはノート PC の持参をお願いする場合があります。

植物工場事業 シミュレーション

▼ 出荷量		※ 作物仕入が不明	
栽培面積 (㎡)	1.1700	1.1700	1.1700
1.1700	4,000	4,000	4,000
1.1700	4,000	4,000	4,000

▼ 生産ユニット	
作物別	1.1700
レタス	1.1700
ベビーリーフ	1.1700
...	...



（講義では稼働シミュレーション雛形を利用して、設備・運営コストの割合、一般的なレタスや高付加価値野菜の収益性、海外資材によるコスト削減について解説します）